

第3次ふじのくに健康増進計画 後期アクションプランの指標評価と 計画期間1年間延長に伴う目標値の考え方

令和5年2月8日（水）

ふじのくに健康増進計画推進協議会

後期アクションプランの進捗状況 一覧

項目	指標数	評価				
		目標達成 (◎)	改 善 (○)	悪 化 (▲)	改善・悪化が 混在 (□)	現時点では 未公表 (-)
健康寿命を延ばす健康づくり	20	6	4	2	5	3
地域の場の力を利用した健康づくり	8	2	2	0	0	4
領域別に進める健康づくり						
食育	12	0	3	1	2	6
運動・身体活動	6	1	0	1	1	3
休養・こころ	3	0	1	0	0	2
たばこ・アルコール・薬物	7	0	3	0	0	4
歯	11	2	1	0	0	8
合 計	67	11 16.4%	14 20.9%	4 6.0%	8 11.9%	30 44.8%
			26 38.8%			

- ◎ 目標達成：2022(令和4)年度の目標値を既に達成
- 改 善：中間評価時2017(平成29)年度より改善
- ▲ 悪 化：中間評価時2017(平成29)年度より悪化

- 改善・悪化が混在
：中間評価時2017(平成29)年度より改善した数値
と悪化した数値が混在

- 現時点では未公表：2023(令和5)年度公表予定

計画期間 1 年間延長に伴う 目標値の考え方

- ・ 現行計画においては、2022(令和4)年度の目標値を設定している。
- ・ 計画期間を1年間延長することに伴い、2023(令和5)年度を最終年度とした目標値設定について、次のとおり整理する。

- ① 「改善」、「悪化」、「改善・悪化が混在」にある指標（26指標、38.8%）については、**目標値を継続し、目標値達成に向けての取組を推進する。（必要に応じて、事業の強化、見直しを図る。）**
- ② 「現時点では未公表」である指標（30指標、44.8%）については、2023(令和5)年3月の公表以降に評価を行う。
- ③ 「目標達成」している指標（11指標、16.4%）については、**各指標の考え方、対応等を次のとおり整理する。⇒（案）見直ししない。**

「目標達成」している指標の考え方、対応等

既に「目標達成」している指標（11指標、16.4%）については、次のとおり考え、対応していく。

考え方、対応等	指 標	指標数
国関連指標であるため、国動向を踏まえて対応していくもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少（HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の者の割合の減少） ・ 全出生数中の低出生体重児の割合の減少 ・ 12歳児(中学校1年生)でむし歯を経験したことがない者の割合の増加 ・ 5歳児でむし歯を経験した歯が5本以上の者の割合の減少 	4
引き続き、同じ目標を掲げるのが適当なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康寿命の延伸（日常生活に制限のない期間の平均の延伸） ・ 健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う企業等の登録数(静岡県内)の増加 	2
新総合計画策定時に見直したもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康マイレージ事業を実施する市町の数 ・ ふじのくに健康づくり推進事業所数（再掲含む） 	3
全市町へ浸透したため、内容の充実を図っていくもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふじ33プログラムを実施する市町の数（再掲含む） 	2
計		11

「目標達成」している指標の考え方、対応等 参考①

○国関連指標であるため、国動向を踏まえて対応していくもの

指 標	2017年度 (平成29年度) (中間評価時点の値)	2022年度 (令和4年度) 現状値	2022年度 (令和4年度) 目標値	考え方、対応等
【健康寿命を延ばす健康づくり】 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少（HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の者の割合の減少）	1.5% (2014年度)	1.0% (2020年度)	1.0%	健康日本21の指標を引用しているため、国の動向を踏まえて、目標値の見直しは行わない。
【健康寿命を延ばす健康づくり】 全出生数中の低出生体重児の割合の減少	10.1% (2015年度)	9.5% (2020年度)	減少傾向へ	健康日本21の指標を引用しているため、国の動向を踏まえて、目標値の見直しは行わない。
【領域別に進める健康づくり(歯科)】 5歳児でむし歯を経験した歯が5本以上の者の割合の減少	11.1% (2016年度)	7.3% (2021年度)	10%	国の次期基本的指針に基づき、検討していく。
【領域別に進める健康づくり(歯科)】 12歳児(中学校1年生)でむし歯を経験したことがない者の割合の増加	73.6% (2016年度)	80.2% (2021年度)	75%	健康日本21の指標(12歳児の一人平均う歯数が1.0歯未満である都道府県の増加)と関連しているため、国の動向を踏まえて、目標値の見直しは行わない。

「目標達成」している指標の考え方、対応等 参考②

○引き続き、同じ目標を掲げるのが適当なもの

指 標	2017年度 (平成29年度) (中間評価時点の値)	2022年度 (令和4年度) 現状値	2022年度 (令和4年度) 目標値	考え方、対応等
【健康寿命を延ばす健康づくり】 健康寿命の延伸 (日常生活に制限のない期間 の平均の延伸)	男性 72.15歳 女性 75.43歳 ※平均寿命 男性 80.54歳 女性 86.74歳 (2010、2013、 2016年の平均値)	男性 73.45歳 +1.30 女性 76.58歳 +1.15 ※平均寿命 男性 81.41歳 +0.87 女性 87.24歳 +0.50 (2019年)	平均寿命の増 加分を上回る 健康寿命の増 加	具体的な数値での目標 値ではないため、引き 続き、「平均寿命の増 加分を上回る健康寿命 の増加」を目標値とし て設定していく。
【地域の場の力を利用した健康づくり】 健康づくりに関する活動に取り 組み、自発的に情報発信を 行う企業等の登録数(静岡県 内)の増加	91 (2017年1月現在)	188 (2023年1月現在)	増加傾向	具体的な数値での目標 値ではないため、引き 続き、「増加」を目標 値として設定していく。

「目標達成」している指標の考え方、対応等 参考③

○新総合計画策定時に見直したもの

指 標	2017年度 (平成29年度) (中間評価時点の値)	2022年度 (令和4年度) 現状値	2022年度 (令和4年度) 目標値	考え方、対応等
【健康寿命を延ばす健康づくり】 ふじのくに健康づくり推進事業所数	109事業所 (2016年度)	6,756事業所 (2022年12月 末現在)	5,000事業所 (2021年度)	新総合計画策定(R4.3)に併せて、 目標値を見直し 目標値 2025年度 6,700事業所
【地域の場の力を利用した健康づくり】 ふじのくに健康づくり推進事業所数【再掲】	109事業所 (2016年度)	6,756事業所 (2022年12月 末現在)	5,000事業所 (2021年度)	新総合計画策定(R4.3)に併せて、 目標値を見直し 目標値 2025年度 6,700事業所
【健康寿命を延ばす健康づくり】 健康マイレージ事業を実施する市町の数	24市町 (2016年度)	35市町 (2019年度)	35市町	新総合計画策定(R4.3)に併せて、 指標を見直し 「健康マイレージ事業カード発行枚数」 現状値 2020年度 11,638枚 目標値 2025年度 20,000枚

「目標達成」している指標の考え方、対応等 参考④

○全市町へ浸透したため、内容の充実を図っていくもの

指 標	2017年度 (平成29年度) (中間評価時点の値)	2022年度 (令和4年度) 現状値	2022年度 (令和4年度) 目標値	考え方、対応等
【健康寿命を延ばす健康づくり】 ふじ33プログラムを実施する市町の数	33市町 (2016年度)	35市町 (2017年度)	35市町	全市町に浸透したため、シニア版、企業版を開発する等内容の充実を図っている。
【領域別に進める健康づくり (運動・身体活動)】 ふじ33プログラムを実施する市町の数【再掲】	33市町 (2016年度)	35市町 (2017年度)	35市町	全市町に浸透したため、シニア版、企業版を開発する等内容の充実を図っている。